

# 承認工事注意事項について

- 1 工事の計画変更について
  - (1) マンホール位置、縦断、設計値、施工方法等を変更する場合は、工事協議書により承認を得ること。
  - (2) 協議のない変更、規定値外の施工については、市への帰属を認めない。
- 2 使用材料について
  - (1) 下水道協会規格品を使用すること。
  - (2) 材料毎に規格印が判かるよう写真をとること。
- 3 汚水取付管について
  - (1) 本管に対して直角で直線的に布設すること。
  - (2) 管径φ100mm・勾配10%以上とし、位置は本管の中心線から上方に取付けること。
  - (3) 取付管の土被りは、官民境界で0.6mを標準とするが、排水設備を考慮し取付管または本管の土被りを計画すること。
- 4 雨水施設について
  - (1) 雨水管の新設又は改築にあたっては、各戸からの既設雑排水管を確実に取り付けること。
  - (2) 既設雑排水管を取り付けた場合は、取付管確認票に併記すること。
  - (3) 取付管の土被りは、汚水取付管と同様とすること。
- 5 工事の施工について
  - (1) 愛知県建設部編集の土木工事標準仕様書に準ずること。
  - (2) 本管及び取付管を布設した場合には、埋設管標識テープ（幅15cm、2重折）を管上30cmに設置すること。
  - (3) インバートを施工するときに、ゴミ、モルタル等を下流に流さないこと。
  - (4) 埋戻時の転圧不足による陥没がないよう十分転圧すること。また、現場密度試験を実施し、報告書を提出すること。
  - (5) 東海市下水道標準図（案）を参考にすること。
  - (6) 埋戻土は石灰系改良土（管基礎部は最大粒径20mm以下）とすること。
- 6 写真撮影について
  - (1) 写真撮影は、測点、説明用図及び設計、検測データを記入したボードと、スタッフ、テープ等により検測状況が十分判読できるよう撮影すること。
  - (2) 写真にて判読しにくい場合は、写真帳に綴じる時に説明用図を併用すること。
  - (3) 品質管理、出来形管理、工事状況写真は、できる限り多く撮影しておくこと。特に必要と思われる場合は、写真を撮影すること。
- 7 管布設写真撮影について
  - (1) 測点箇所をマンホール間の中心付近に1箇所定め管理すること。

(2) 可とう継手及び巻立コンクリートは管布設工に含め、上下流全箇所撮影すること。

(3) 写真撮影項目は「10 管布設工事の写真撮影項目」を参照すること。

#### 8 マンホール設置写真撮影について

(1) マンホール設置は、躯体にマンホールナンバーを記入し、全マンホールを撮影すること。

(2) マンホールステップのビニールを取ってから、インバート完了写真を撮影すること。

(3) 写真撮影項目は「11 マンホール工の写真撮影項目」を参照すること。

#### 9 取付管布設写真撮影について

(1) 支管の接続部分からは取付管工とし、全取付管を撮影すること。

(2) 写真撮影項目は「12 取付管工の写真撮影項目について」を参照すること。

#### 10 管布設工の写真撮影項目について

(1) 工事着手前・完了（全スパン）

(2) 床掘・積込み状況

(3) 床均し完了出来形

(4) 掘削出来形、掘削幅（テープ）・掘削深（スタッフ）

(5) 管基礎投入状況（基礎砂、砂基礎と表示）

(6) 管基礎敷均し転圧状況（基礎砂、砂基礎と表示）

(7) 管下10cm砂基礎出来形（定規又は丁張りからのさがり管理）

(8) 管接続状況

(9) 管布設状況

(10) 管布設完了出来形

(11) 可とう継手設置及び管との接続状況（上下流）

(12) 可とう継手設置完了出来形（上下流）

(13) 巻立コンクリート型枠出来形（テープ、スタッフ等で  $H \times B \times W$ ）（上下流）

(14) 巻立コンクリート打設完了出来形（上下流）

(15) 副管設置状況

(16) 副管設置完了出来形（高さをスタッフで表示）

(17) 管基礎投入状況

(18) 管基礎転圧状況

(19) 管上10cm砂基礎出来形（丁張りからのさがり管理）

(20) 埋設管標識テープ設置完了状況

(21) 在来土、改良土投入状況

(22) 在来土、改良土転圧状況

(23) 路体30cm、路床20cm毎埋戻し完了出来形（丁張りからのさがり管理）

(24) 矢板撤去状況

(25) 埋戻し完了出来形（路盤厚を残した出来形）

#### 11 マンホール工の写真撮影項目について

(1) 床掘・積込み状況

- (2) 床均し完了出来形
- (3) 掘削出来形、掘削幅（テープ）・掘削深（スタッフ）
- (4) 基礎碎石投入状況
- (5) 基礎碎石転圧状況
- (6) 基礎碎石出来形（幅 テープ、碎石厚 スタッフ等）
- (7) 敷モルタル完了出来形
- (8) 底版据付出来形
- (9) 目地処理状況
- (10) 躯体据付状況
- (11) 底版と躯体連結完了状況
- (12) 斜壁据付出来形
- (13) 躯体と斜壁連結完了状況
- (14) 全マンホールブロック据付完了出来形
- (15) 在来土、改良土投入状況
- (16) 在来土、改良土転圧状況
- (17) 矢板撤去状況
- (18) 路体 30 cm、路床 20 cm 每埋戻し完了出来形（マンホール躯体にペイントで管理）
- (19) 受枠・マンホール蓋据付状況
- (20) 無収縮モルタル施工状況
- (21) 無収縮モルタル完了状況
- (22) 受枠・マンホール蓋据付完了出来形
- (23) 在来土、改良土投入状況
- (24) 埋戻し完了（路盤厚を残した出来形）
- (25) インバート工完了状況

## 12 取付管工の写真撮影項目について

- (1) 床掘・積込み状況
- (2) 床均し完了出来形
- (3) 掘削出来形、掘削幅（テープ）
- (4) 管基礎投入状況（基礎砂、砂基礎と表示）
- (5) 管基礎敷均し転圧状況（基礎砂、砂基礎と表示）
- (6) 管下 10 cm 砂基礎出来形（定規）
- (7) 支管接続状況
- (8) 支管接続完了状況
- (9) 取付管砂基礎状況
- (10) 取付管布設状況
- (11) 取付管布設出来形（延長、官民界の土被り）
- (12) 管基礎投入状況
- (13) 管基礎転圧状況
- (14) 管上 10 cm 砂基礎出来形（定規又は丁張りからのさがりて管理）
- (15) 埋設管標識テープ設置完了状況
- (16) 路体 30 cm、路床 20 cm 每埋戻し完了出来形（丁張りからのさがりて管理）
- (17) 埋戻し完了出来形（路盤厚を残した出来形）

(18) 汚水鋏設置（鋏の頭は舗装面に合わせること。）

13 工事写真帳（出来形）について

(1) 路線番号及びマンホール番号の小さい方から綴ること。

(2) 出来形管理測点毎に測点を明記した平面豆図を添付すること。

① 工事着手前・完了

② 汚水管布設工

③ 雨水管布設工

④ 汚水マンホール工（矢板設置からインバート完了まで）

⑤ 雨水マンホール工（矢板設置からインバート完了まで）

⑥ 汚水取付管工

⑦ 雨水取付管工

(3) 路線番号及びマンホール番号のインデックス（汚水は赤色、雨水は水色、その他は赤色）を付けること。

14 管内TVカメラ調査報告書について

(1) 様式は下水道施設維持管理積算要領（日本下水道協会編）の管路施設調査工仕様書に準ずること。（A4判）

(2) 報告書は次のようにまとめること。

① 位置図

② 工事平面図

③ 判定基準表

④ 調査総括表

⑤ 調査集計表

⑥ 不良箇所集計表

⑦ 考察

⑧ 調査記録表・不良箇所写真

⑨ 管内ビデオテープ

(3) 汚水、雨水全路線を調査し報告すること。

(4) 原則マンホール番号の小さい下流の方から調査すること。

(5) マンホール管口、管接続部、取付管接続部等全箇所調査すること。

(6) 施工不良箇所については、補修完了後に再度撮影すること。

※下水道施設維持管理積算要領 管路施設編

発行所 社団法人 日本下水道協会 (03) 5200-0811 (代)

東京都千代田区大手町2-6-2 (日本ビル3階)

15 出来形集計表の作成について（様式1-1・1-2、P19・P20参照）

(1) 設計値と比較対照すること。

(2) 次のとおりまとめること。

① 雨水路線総延長

② 汚水路線総延長

③ 汚水路線延長（管径、管種別にする。）

④ 雨水路線延長（管径、管種別にする。）



- (5) 管内カメラの画像データ（CD等）
- (6) 竣工図面（CADデータ含む）

19 成果品の仕様

- (1) すべてA4判厚表紙パイプファイルバインダー綴じとし、表紙及び背表紙にタイトル及びファイルナンバーを付けること。
- (2) 出来形図面及び取付管確認票1部は、他の成果品とは別に綴ること。